

輪島市

社協だより



No. 11

発行日/平成23年9月1日

被災地に届け、輪島からの思い……和みバッグを届けてきました。

能登半島地震からまもなく4年目を迎えようとしていた時に東日本大震災が起きました。4年前を思い出し、今、私たちに何ができるのかと考え、災害ボランティアの会の皆さんが中心となり「和(輪)なごみバッグ」の製作にとりかかりました。総勢で約150名の方のお力で550近く仕上がり、早速6月19日岩手県田野畑村と野田村を訪問し届けて来ました。



田野畑村仮設住宅前にて
左から輪島市災害ボランティアの会 小伊藤さん、輪島市社協 上島会長
田野畑村社協 畠山会長さん、佐々木事務局長さん、
輪島市災害ボランティアの会代表 三谷さん

◆編集・発行◆

社会福祉法人 輪島市社会福祉協議会

本 所/〒928-0001輪島市河井町2部287番地1(輪島市ふれあい健康センター内) ☎(0768)22-2219 FAX(0768)22-9627
《介護支援室》〒928-0001輪島市河井町20部1番地1(輪島市文化会館2階) ☎(0768)22-9838 FAX(0768)22-4773
《ふれあいプラザ二勢》〒928-0031輪島市二勢町44番地 ☎(0768)23-0080 FAX(0768)23-0081
門前支所/〒927-2153輪島市門前町深田21の17番地1(輪島市門前保健センター内) ☎(0768)42-0772 FAX(0768)42-0901
《URL》<http://www6.ocn.ne.jp/~washakyo/> 《E-mail》washakyo@aqu.aqua.ocn.ne.jp



社会福祉法人
輪島市社会福祉協議会
会長 上 畠 忠 雄

就任のご挨拶

皆様方には日頃から輪島市社会福祉協議会の事業に対し、深いご理解とご協力を賜わり誠にありがとうございます。

私 去る7月1日付で再任されまして、心新たに与えられた任期をしっかり全うしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、社協の事業も多種・多様となり大変多忙を極めている中、この度役員一丸となって『地域福祉活動計画』の作成を進めております。市民の皆様方にもご協力を願うことがあるかと思いますが、その節はご指導ご鞭撻賜われれば幸いです。

結びに皆様方のご清栄を心から祈念申し上げます。

理事・監事・評議員紹介

任期満了に伴い、去る5月30日開催の第1回理事会・評議員会において理事12名、監事2名、評議員25名が選任されました。

また、7月1日開催の第2回理事会において理事の互選により会長及び副会長が選任されました。

新役員(理事・監事)及び評議員の方々は、次のとおりです。(敬称略)

理 事

定数12名(任期：平成23年7月1日～平成25年6月30日)
理事は、社協の運営、事業等について意志決定を行う執行機関です。

役 職	氏 名	選 出 団 体
会 長	上 畠 忠 雄	輪島地区民生委員児童委員協議会会長
副会長	坂本 春雄	南志見地区民生委員児童委員協議会会長
理 事	湊 良作	学識経験者
〃	高田 正男	輪島市議会教育民生委員長
〃	水戸 修補	輪島市区長会会長
〃	谷内 峻	輪島市民生委員児童委員協議会会長
〃	滝町 弘明	特別養護老人ホームあての木園施設長
〃	田浦 良弘	輪島市老人クラブ連合会会長
〃	小伊藤佳子	輪島市ボランティア連絡協議会会長
〃	丹圃 俊記	輪島市福祉環境部部長
〃	若松 勝治	輪島地区保護司会副会長
〃	七尾 幸子	輪島市社会福祉協議会事務局長

監 事

定数2名(任期：平成23年7月1日～平成25年6月30日)
監事は、社協活動の業務執行状況、財産の状況を監査する機関です。

役 職	氏 名	選 出 団 体
監事	堺 邦夫	学識経験者
〃	福田 友昭	社会福祉法人町野福祉会理事長

評 議 員

定数25名(任期：平成23年6月1日～平成25年5月31日)
評議員は、地域を代表する団体等から選出された方々で構成された議決機関です。

役 職	氏 名	選 出 団 体
評議員	川端 一人	地域自治会長
〃	紺谷ふさゑ	各種女性団体連絡会会長
〃	中室耕二郎	社団法人輪島青年会議所理事長
〃	向 民夫	門前地区民生委員児童委員協議会会長
〃	谷 佳子	大屋地区民生委員児童委員協議会会長
〃	平 誠子	河原田地区民生委員児童委員協議会副会長
〃	細川 正雄	三井地区民生委員児童委員協議会会長
〃	藤本 栄一	鶴巣地区民生委員児童委員協議会会長
〃	石川 壽夫	町野地区民生委員児童委員協議会会長
〃	久保 敬夫	輪島市民生委員児童委員協議会主任児童部会長
〃	田中 昭二	特別養護老人ホームあかかみ施設長
〃	山本 末松	輪島市福祉環境部福祉課課長
〃	宮越 勝彦	輪島市門前総合支所健康福祉課課長
〃	高藤 正弘	輪島市ボランティア連絡協議会副会長
〃	皆戸 政利	特定非営利活動法人輪島あすなの会理事長
〃	袖浦 政博	輪島市身体障害者福祉協議会会長
〃	小路はるみ	輪島市保育士会会長
〃	鬼平 恵子	輪島市母子寡婦福祉協会会長
〃	川端 學	輪島市老人クラブ連合会副会長
〃	定梶 裕司	輪島市介護認定審査会会長
〃	赤石 一喜	輪島市公民館連合会会長
〃	中前 猛	輪島市校長会会長
〃	三谷みはる	輪島地区更生保護女性会会長
〃	大下 慎司	輪島市PTA連合会会長
〃	泉 靖郎	地域まちづくり協議会代表

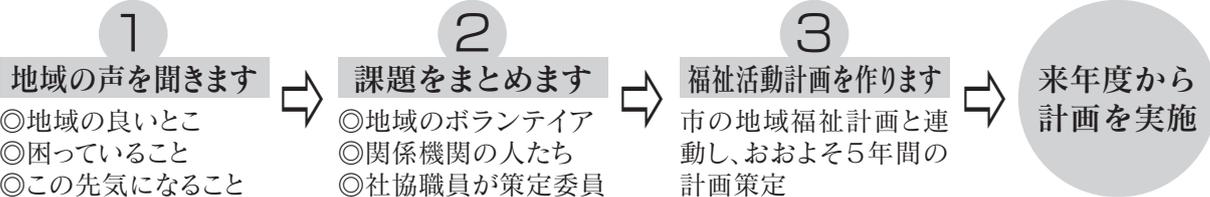
私たちのまちづくり大作戦 地域福祉活動計画に参加しませんか!

家を建てるときに、設計図が必要なように、福祉の町づくりにも設計図が必要です。その設計図をつくること、それが計画の策定です。

今年度、輪島市は地域福祉計画を策定し、輪島市社会福祉協議会は計画推進していくための地域福祉活動計画を策定します。住民参加のもと、皆様の声が生きるよう、一緒に取り組んでいきたいと願っています。みなさんにぜひ参加していただきたいのでFAXや話し合いなどで声を聞かせてください。



福祉活動 計画策定 の流れ



輪島市社協 マスコット キャラクター 募集!

キャッチフレーズ「ふだんの 暮らしを しあわせに」をマスコットキャラクターを通じ、より多くの住民に地域福祉を知ってもらいたいと思っています。

子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々に愛されるマスコットキャラクターを募集します。

マスコットキャラクターデザイン募集要項

★応募資格

輪島市民ならどなたでもご応募できます。(年齢・性別・プロ・アマ等は問いません。)

★応募方法

輪島市社会福祉協議会窓口までお届けください。(参加賞をお渡しします。)

- ◎本所 (輪島市ふれあい健康センター1F)
- ◎門前支所 (輪島市門前保健センター1F)
- ◎介護支援室 (文化会館2F)
- ◎ふれあいプラザ二勢 (二勢市営住宅隣)

★応募用紙

自由(サイズはハガキ大)、全身デザイン1点。用紙にキャラクターの簡単な説明と必要事項(氏名・ふりがな・住所・電話番号・年齢・職業または学校名)を記入のうえ提出してください。

★応募規定

- ◎オリジナルの未発表作品に限ります。
- ◎作品の色数は自由です。
- ◎一人何点でも応募できます。
- ◎入賞作品の使用にあたっては、サイズ・色数等を一部修正させていただく場合があります。
- ◎応募作品は返却しません。
- ◎キャラクターの名称はキャラクター決定後、改めて募集します。

★募集期間

平成23年8月1日(月)～9月30日(金)まで

★入賞

最優秀賞(1点) 賞状、賞金(5万円)

★選考方法と結果発表

マスコットキャラクター選考委員会にて審査し、決定します。審査結果は、輪島市社会福祉協議会が発行する「社協だより」およびホームページ等で公表します。また、入賞者には直接ご連絡いたします。

★その他

- ◎入賞された場合は、氏名および住所(町名まで)を公表させていただきます。
- ◎採用作品は、地域福祉活動計画や輪島市社会福祉協議会のあらゆる広報媒体に使用します。
- ◎応募時にいただいた個人情報、当募集に関する審査および結果通知や、応募作品についての問い合わせ等を行うためのみ使用し、本公募および表彰以外の目的に使用しません。

※採用作品の著作権、二次使用权、商品化権、放送権、商品等その他の一切の権利は本会に帰属し、応募者は応募作品に関し、著作人格権に基づく行使は行わないものとします。また、採用決定後であってもそれらに違反していることが判明した場合、採用は無効となります。



平成22年度 社会福祉協議会事業・決算報告

《概要版》

地域福祉事業

①法人運営事業

- ・理事会(年3回)・評議員会(年3回)の開催・監査会(年1回)の開催
- ・広報誌「社協だより」の発行(年2回)
- ・市民福祉講座の開催(年12回)
- ・福祉活動団体支援
輪島市民生委員児童委員協議会・輪島市老人クラブ連合会
門前町遺族連合会・輪島市身体障害者福祉協議会
- ・介護機器貸し出し(年47件)

②ふれあい福祉相談センター事業

- ・ふれあい福祉相談センター事業の実施(相談件数年360件)
一般相談(週5回、年243日) 法律相談(年18回)
カウンセラー(年46回) 門前支所心配ごと相談(年12回)
- ・相談技術向上研修の開催(年4回)・相談員研修の開催(年2回)
- ・出前介護教室の実施(年10回)
- ・防災訓練参加(災害ボランティアセンター設置訓練)
- ・防災土講習(職員10名修了)

③貸付事業

- ・生活福祉資金貸付事業(貸付件数35件)
- ・北山資金貸付事業(貸付件数31件)
- ・母子・身障貸付事業(貸付件数21件)

④ボランティアセンター事業

- ・広報誌「ぬくもりかわら版」の発行(年3回)
- ・暑中見舞いでボランティアの実施
- ・ボランティアフェスティバルの開催
- ・配食サービスの実施(9地区、延べ48回)

⑤福祉サービス利用支援事業

- ・相談件数475件、契約件数21件

⑥成年後見利用支援事業

- ・シンポジウム「成年後見制度 輪島市ではどうなっていますか」開催
- ・弁護士による講演会の開催

⑦輪島市児童センター・輪島市もんぜん児童館

- ・中学生・高校生の活動支援
- ・ジュニアボランティア事業の実施
- ・子育てサロンの開催

⑧児童クラブ

- ・市内10クラブ運営(在籍児童数 276人)

⑨障害者福祉サービス事業

- ・障害福祉サービス事業
(利用人数 月平均15.6人、延べ訪問回数2,112回)
- ・移動支援
(利用人数 月平均1.6人、延べ訪問回数78回)

⑩有償運送事業

- ・要介護・要支援認定者、身体障害者の方の自宅から医療機関への送迎
(利用人数 月平均178.3人、延べ送迎回数2,139回)

⑪介護予防拠点施設「ふれあいプラザ二勢」事業

- ・介護予防アクティビティ教室
(教室回数238回、延べ利用人数1,790人)
- ・高齢者筋力向上トレーニング
(教室回数 146回、延べ利用人数 630人)
- ・シルバーハウジング生活援助員派遣事業
(訪問件数 年742件)

⑫介護員養成研修事業(ヘルパー2級課程)

- ・地域の在宅介護支援体制の強化 修了者16名

⑬生活・介護支援員養成研修事業

- ・地域で高齢者の生活を支えるシステムの構築
生活・介護サポーターの養成 修了者23名

介護保険事業

⑭訪問介護事業

- (利用者 月平均48人・訪問回数 月平均689回)

⑮居宅介護支援事業

- (利用者 月平均76人)

共同募金配分事業

- ・理事会(年2回)の開催・配分審査委員会(年1回)の開催

⑯一般募金配分金事業

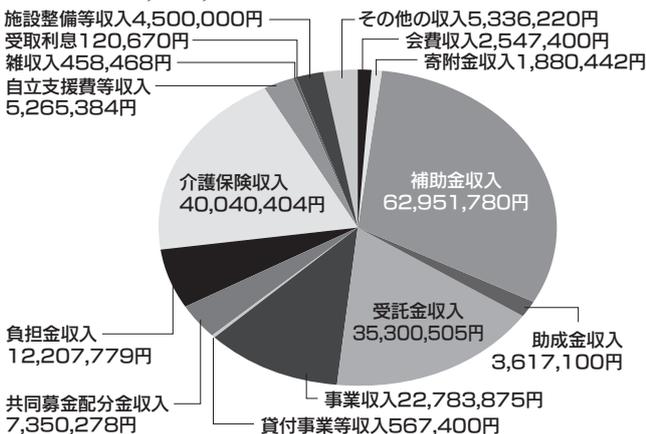
- ・街頭募金の実施(10月 61,734円)
- ・戸別募金の実施(市内10,047世帯 6,448,300円)

⑰歳末たすけあい配分事業

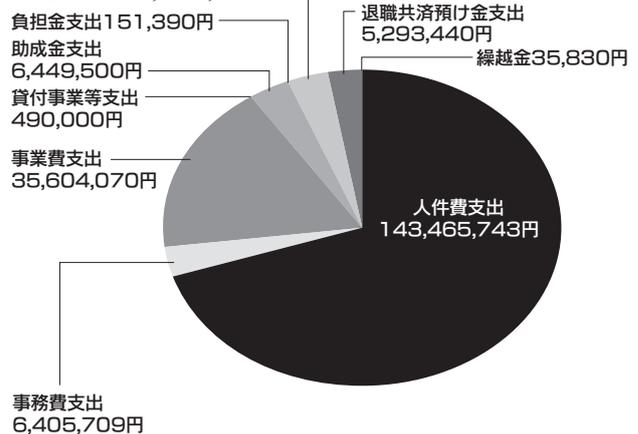
- ・街頭募金の実施(12月 97,112円)
- ・職域募金の実施(市内234事業所・団体 1,234,629円)
- ・歳末たすけあい募金の配分
在宅への見舞金、子育て支援、福祉団体・グループへの支援、障害者との交流活動支援

平成22年度 決算

■収入 204,927,705円



■支出 204,927,705円



平成23年度 社会福祉協議会事業計画・予算 《概要版》

地域福祉事業

基本方針

輪島市社協の指針となる『地域福祉活動計画』を完成させ、ふくしのまちづくりへの思いを共有することを目指します。

重点目標

- ・福祉にかかわる人づくりをすすめる
- ・地域の課題や特性を検討する課題別委員会を設ける
- ・地域住民が参加し、提言できる講座や場所づくり
- ・組織を強化するため、職員の専門性を高め、人事計画を作成する
- ・地域福祉活動計画の完成

①法人運営事業

- ・組織の強化
- ・経営基盤を強化し、財源の確保に努める
- ・地域福祉活動計画の策定
- ・関係団体の組織強化
- ・広報活動 ホームページ、広報誌を通じての啓発活動

②ふれあい福祉相談センター事業

- ・ふれあい福祉相談センターの機能強化
- ・県、市と連携し傾聴ボランティアを育成する

③ボランティアセンター事業

- ・ボランティア活動の活性化をめざし、ボランティアの育成、団体支援を図る

④福祉サービス利用支援事業

- ・利用者増加に対する組織体制を強化する
- ・各機関との連携を強化する

⑤成年後見利用支援事業

- ・事例検討、課題別検討会、シンポジウムを開催する

⑥輪島市児童センター・輪島市もんぜん児童館

- ・児童健全育成の総合的拠点をめざす
- ・地域組織活動の支援、ボランティア団体との協働
- ・地域子育て支援
- ・ジュニアボランティア事業の実施

⑦児童クラブ

- ・児童健全育成と、保護者の就労と子育ての両立を支援する

⑧貸付事業

- ・他からの借り入れが困難な方が、資金の援助指導を受けることによって自立し、安定した生活が送れるようになる

⑨障害福祉サービス事業

- ・障害者自立支援法に基づき、居宅介護・移動支援を行う

⑩介護予防拠点施設「ふれあいプラザ二勢」事業

- ・「団地と地域のコミュニティの拠点、地域の福祉・自治活動の拠点」という設置目的を達成することができるように管理する
- ・自主事業の計画・実施

⑪有償運送事業

- ・月平均延運行回数173回を目標とする

⑫地域包括支援センター職員派遣事業

- ・高齢者に関する支援体制を整備する

⑬介護員養成研修事業(2級課程)

- ・家族の介護力を高めるため、福祉の人材を育成する

⑭生活・介護支援員養成研修事業

- ・高齢者が自分らしく生活できるよう、地域で支える仕組みを構築する

介護保険事業

⑮訪問介護事業

- ・介護サービスの評価・研修等を通じて介護サービスの向上をめざす

⑯居宅介護支援事業

- ・ケアマネジャー研修を通じ、ケアプランの質の向上をめざす

共同募金配分事業

⑰一般募金配分金事業

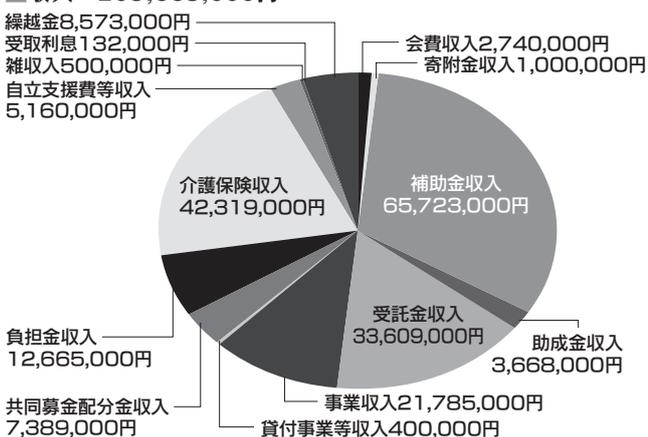
- ・募金に対する理解を市民に広げ、募金活動への協力並びに積極的な推進を図る

⑱歳末たすけあい配分金事業

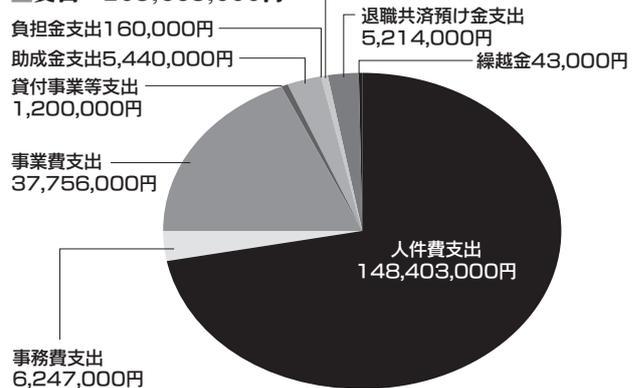
- ・市内の援護を必要としている方への歳末見舞金、市内の福祉活動や子育て支援を行う団体への活動助成として当年度に配分する

平成23年度 予算概要

■収入 205,663,000円



■支出 205,663,000円



平成23年度 社協会費に ご協力をお願いします

輪島市社会福祉協議会は、市民のみなさまを会員とした民間の福祉団体です。皆様からお寄せいただく会費は、本会の事業推進に大変貴重な財源であり、また住民参加という大きな意味をもっております。この会費は市内の福祉活動に役立てさせていただいております。今年度も一人でも多くのみなさまにご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

会費の種類と金額

- 一般会員 一世帯(市内の世帯) 年200円
- 賛助会員 一口(個人) 年1,000円
- 特別会員 一口(団体・会社・事業所・施設等) 年5,000円

会費の使い道

■ 地域福祉事業に

心配ごと相談事業の実施(市民を対象にした弁護士による無料法律相談、相談員による日常生活のあらゆる悩み事相談)、高齢者を対象とした配食サービス、ボランティア情報誌の発行。

■ 地区社協事業

実績の10%を地域に還元し、みなさまがお住まいの地区社会福祉協議会の事業費。

■ 社協運営費

事務局の運営費に、理事会・評議員会(年3回)の開催。事務諸経費等。

平成22年度会費実績 2,547,400円
(一般会費2,026,400円、特別・賛助会費521,000円)

赤い羽根共同募金



10月1日▶12月31日

共同募金運動にご協力をお願いします

「じぶんの町を良くするしくみ」として、今年も赤い羽根共同募金運動が、10月1日から12月31日まで、全国一斉に展開します。12月1日からは、歳末たすけあい運動も実施されます。この募金によって、地域における福祉サービスの向上のための事業やボランティア活動等が実施されます。有効かつ効果的な配分を計画し運動を展開してまいります。皆様方のあたたかいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

平成23年度 目標額 8,860,000円

《一般募金 7,460,000円 歳末たすけあい募金1,400,000円》

募金目標額 一世帯あたり700円

※平成23年度の輪島市における一世帯あたりの目標額は700円となりました。何卒これを目安にご協力下さいますようお願いいたします。

輪島市社会福祉大会が開催されました。

去る8月9日(火)、輪島市文化会館大ホールに於いて「心に寄り添う地域づくり」をメインテーマとして、輪島市社会福祉大会が開催されました。

長年福祉活動をされた方の表彰や感謝状の贈呈、ボランティア団体の活動報告、講談師 田辺鶴暎氏による介護講談など会場には約600名の参加がありました。

今年度表彰を受けられた方をご紹介します。〈順不同・敬称略〉

- ・市長表彰 古屋敷 吉長・徳木 ひさよ
- ・市長感謝状 大阪輪島会(兵庫 達夫)・山下 精二
- ・社会福祉協議会会長表彰
池澄 ひろみ・中路 雅博・今牛 喜久雄・有澤 基次・的場 宏子・大久保 京子
竹田 まゆみ・田上 美和子・住谷 静江・下 昭子・高崎 京子・池端 香・松岡 逸子
岡本 智子・山口 ゆかり・上原 裕子・才願 恭祐・中村 珠美・増田 美奈子
野口 章子・紺谷 久美子・畑中 康則・村口 文男・山口 貴幸・平澤 憲一
今村 紀子・荒木 弘恵・坂下 美香・山本 惣太郎・たんぼぼの会・さくらグループ
市立輪島病院ボランティアグループ「なでしこ」

輪島市民生委員児童委員協議会

平成23年度輪島市民生委員児童委員協議会総会及び研修会を6月13日(月)輪島市文化会館にて開催し、109名の方が参加されました。

市民児協の谷内会長、輪島市長挨拶後、平成22年度事業報告及び決算・平成23年度事業計画及び予算が承認され、午後は市立輪島病院 東福先生による「いつまでも在宅で」を題目に研修会を開催しました。輪島市の地域医療の現状を学ぶことができ、日頃から要援護者を把握し、支援している民生委員・児童委員のみなさまの啓発の一環となりました。



◇今後の予定◇

- ・各地区定例会の開催(毎月1回)
- ・市民児協会長会議(毎月1回)
- ・地域福祉セミナーの開催

輪島市老人クラブ連合会

平成23年7月20日(水)、門前グラウンドゴルフ場にて石川県県知事杯グラウンドゴルフ輪島予選会が開催されました。会員のみなさまは、日頃の練習の成果を発揮されておりました。

■予選結果(敬称省略)

☆女性1チーム上位6人

1位 高崎 英子 2位 金田 とし 3位 高松知恵子
4位 池端きくい 5位 山岸 祐子 6位 竹本十四子

☆男女混合2チーム上位12人

1位 坊上 直一 2位 隅谷 政一 3位 俵口 菊宏
4位 西本 毅 5位 竹本 昭彦 6位 小谷 茂次
7位 小池 穰 8位 田村 紘一 9位 若松みねこ
10位 山本 一男 11位 芦崎由利子 12位 山本マチ子

県知事杯へは、輪島市から女性1チーム、男女混合2チームが参加します。



◇今後の予定◇

- ・県知事杯グラウンドゴルフ大会本選(9月15日 金沢市)
- ・高齢者と障害者のさわやか運動会(10月20日)
- ・全国老人クラブ大会(11月1日～2日 金沢市)

輪島市ボランティアセンター

* 輪島市ボランティアフェスティバル

毎年恒例の「ボランティアフェスティバル」を、今年度も、11月19日(土)に開催します。詳しくは、11月発行の「ぬくもりかわら版」にてお知らせいたします。

* 全国ボランティアフェスティバルTOKYO

今年度は、11月12日(土)～13日(日)に東京都で、全国ボランティアフェスティバルが開催されます。全国からボランティアや市民活動する皆さんが集まる日本で最大のフェスティバルです。輪島市からも参加する予定です。

ありがとう♡みんなのきもち

あたたかいお心をありがとうございます

(平成23年1月18日から平成23年8月5日まで)

◆一般寄付金◆

山下精二 様	100,000円	妙相寺 様	10,000円
森本清左エ門 様	1,816円	川中大二 様	100,000円
匿名の方	20,000円	劇団「晴れるや」 様	11,423円

◆使用済テレフォンカード・古切手・書き損じハガキ・ペットボトルキャップ・プルタブ寄附◆

古切手		プルタブ	
匿名の方 他3名	紺田英子 様	国際ソロプチミスト輪島 様	オータニ美容室 様
輪島市役所健康推進課 様	河原田保育所 様	鶴巣小児童会 様	田中義明 様
西保公民館 様	北陸銀行輪島支店 様	大向サイクル 様	鳳至小学校 様
(株)大徹八井漆器工房 様	上田農園 様	的場真喜子 様	
鈴木徳子 様	竹上くに子 様		
古切手・プルタブ		プルタブ・ペットボトルキャップ	
門前公民館 様	坂下舗道 様	匿名の方	古切手・テレフォンカード 細谷賢一 様

東日本大震災義援金にご協力いただきありがとうございます

みなさまからお預かりしました義援金は、石川県共同募金会を通じて被災地へ届けられます。下記のとおり石川県共同募金会へ送金させていただきましたのでご報告いたします。

☆義援金送金額 **175,955円** (平成23年6月6日～8月17日までのお預かり分 送金日8月17日)

- 匿名の方 10,000円
- 秀寿司 様 3,722円
- 二勢ふれあいチャリティバザー 151,395円
- 窓口募金箱 10,838円

◆これまでにお預かりした募金総額は1,104,229円となりました。本会では引き続き平成23年9月30日(金)まで受付いたします。

二勢ふれあいバザーチャリティーバザーにご協力ありがとうございました

内訳	募金箱	20,505円
	バザー売上げ	112,490円
	飲食販売売上げ	18,400円
	合計	151,395円

皆様から寄せられた募金と、バザーと飲食販売の売上は、石川県共同募金会を通じて東日本大震災で被害に遭われた方へ届けられます。

花の種50個を「和みバッグ」に入れて陸前高田市へ届ける予定です。



がんばろう日本! 東日本大震災職員派遣状況

岩手県陸前高田市災害ボランティアセンター

* 輪島市社協からは、現在までに下記3名を派遣しております。

田中左智子(6/29～7/6)、戸田さや香(8/8～8/13)、赤坂佳子(8/18～8/25)

8/8～13にかけて、岩手県陸前高田市へ行ってきました。全国から毎日約580～770人のボランティアの方々が駆けつけ、一生懸命活動されていました。私の役割はボランティア活動でケガをしないように事前説明をすることでした。ボランティアの方々を始め、様々な皆さまの協力で少しずつ復興に向かっている様に思いました。(戸田)